

## 令和4年平和祈念滋賀県戦没者追悼式 知事式辞

本日ここに、多数の御遺族ならびに御来賓の皆様をお迎えして、令和4年平和祈念滋賀県戦没者追悼式を執り行うに当たり、滋賀県民を代表して、先の大戦で亡くなられた全ての御霊に対し、謹んで哀悼の誠を捧げます。

先の大戦が終結して、77年の年月が過ぎました。この戦いでは滋賀県出身の32,715名の尊い命が失われました。遠く故郷を離れ、祖国の安泰を願い、愛する家族を思いつつも、壮絶な戦場に倒れ、傷つき、あるいは飢えや病に苦しみながら多くの方が異国の地で亡くなられました。どんな想いでいらしたでしょうか。

肉親やご家族を失われ、残された御遺族のお気持ちや戦後の塗炭のご労苦を想うとき、今なお悲痛の思いが胸に迫ってまいります。

今私たちが当たり前のように享受している平和と繁栄は、戦禍の中で亡くなられた多くの方々の尊い犠牲の上に築かれていることを、決して忘れてはなりません。

世界情勢をみますと、ウクライナでは、幼い子どもをはじめとする多くの命が犠牲となっていることに、胸を痛めております。また、世界各地で今もなお地域紛争やテロが続いていることは、本当に悲しく残念なことです。

平和への希求がより一層高まっているなか、悲惨な戦争を二度と繰り返さないためにも、その記憶を風化させることなく、わが国の歩んだこの歴史をしっかりと省み、未来へとつないでいくこと、それが今ここに生きている私たちに課せられた重要な使命です。

私自身も戦争を知らない世代ですので、これまでから、滋賀県遺族会

主催の沖縄や海外の戦跡慰霊巡拝にご一緒させていただいておりますが、今後も、県内の戦跡を回り知り学ぶとともに、まだ果たせていない地にも慰霊巡拝をしたいと思っております。

先月13日には、護国神社のみたままつりにおいて、竹灯籠に灯りを点し、御英霊に感謝の祈りを捧げてまいりました。また、県内の戦没者の慰霊のために建立された「滋賀県戦没者英霊塔」の周りを、滋賀県遺族会の皆様と一緒に清掃させていただき、そのもとにある御英霊の位牌に手を合わせました。また、市町や遺族会が実施されている平和祈念企画展を訪れ、遺品や写真、家族にあてた手紙を拝見し、御遺族の平和に対する強い思いを伺ったところです。

この思いを今後も次世代に末永く引き継いでいかねばならないと考えております。

本日は、長浜小学校の合唱団に初めて御参加いただいております。子どもたちにとっても、本日の式典が平和について考える機会となれば幸いです。

戦争の悲惨さを次の世代にしっかりと語り継ぐとともに、誰もが安心して、心豊かに暮らせる美しい湖国滋賀を未来に引き継ぐため、世界平和を願い、恒久平和の実現に向けた不断の努力を続けてまいりますことを、ここに固くお誓い申し上げまして、式辞といたします。

令和4年9月3日

滋賀県知事 三日月 大造